

様々な形で社会に貢献する電池、電子製品を供給

FDKグループは、保有技術を活かした市場ニーズに応える電池、電子製品の開発と供給を継続的に行ない、また環境変化に柔軟に対応することで、お客様にご満足いただけ、信頼を置いていただけるエネルギーマネジメントメーカーとして認知されるよう、活動を推進しています。

FDKグループの取り組み

環境法や環境上の規範を遵守し、地球にやさしい素材を活かした電池、電子製品を提供し続けることで、未来を育む企業としての価値の向上を進めています。その一環として、これまで

の経験から蓄積されてきた差別化技術を用い、そこから生み出される新たな付加価値が提供できる製品の開発に取り組んでいます。

特色のある差別化技術がもたらす「安心の提供」、「環境への責任」

FDKは電池と電子製品の技術を併せ持つ世界的にも稀有な企業グループです。

そうした特色が活かされた差別化技術は、一例として電池、電子製品でお互いの長所を融合した技術としてシステム電池技術を生み出しました。

お客様や市場が求める地球環境に即した製品を常に供給し続けることを心掛け、製品開発に取り組んでいます。

また、FDKの製品をより身近に感じていただくために、各種展示会に積極的に出展を行なっています。

2016年度にプレスリリースした主な開発製品

● 業界最高水準の低コアロスを実現させたフェライト材料「6H60T」



半導体製造装置などの産業機器用電源の消費電力の低減に貢献します！

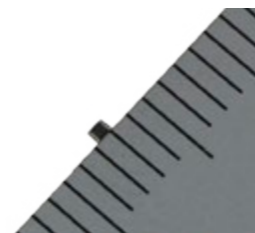


* コアロス: 電源トランスの磁心内でのエネルギーが熱となって奪われること

● 業界最小1005サイズで低損失、高い重畳特性を実現させた積層パワーインダクタ



スマートフォン、ウェアラブル機器などモバイル機器の消費電力の低減、小型・軽量化に貢献します！



* 重畳特性: 電流を加えた時の特性値の変動。一般的に形状が小さいほど重畳特性が低下する(流せる電流が少ない)。

● 「センサーロガー」に長時間駆動可能な電池交換タイプを開発



人やモノ、周囲環境の情報をインターネットにつなげて収集し、作業中や移動中の状態を把握。要介護者の方の見守りや工事現場の作業環境管理など、人々の安心・安全に貢献します！



● 超薄型センサービーコンとメディアータロボットとの連携



センサービーコンからの情報をもとに、ロボットがお客様一人ひとりに合ったおすすめの商品を案内します！



● 大容量ニッケル水素蓄電池「メガトワイセル」を開発！



再生可能エネルギーの電力貯蔵や災害発生時の停電対策、非常用電源用途に力を発揮！



メガトワイセル

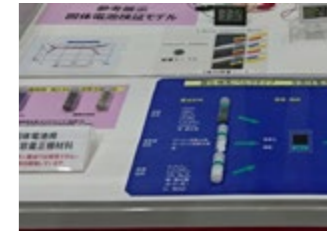
水溶性電解液や難燃性樹脂材の採用により長期間安全に使用可能！

再資源化率が高いニッケル水素電池を使用し、溶接で固定しない構造のため、リサイクル性に優れた環境にやさしい蓄電池です！

● 高エネルギー密度を有する全固体リチウムイオン電池用正極材料を開発！



材料がすべて固体のため液漏れがなく、主に可燃性の有機系材料を使用している既存のリチウムイオン電池と比較し、高い安全性を有する全固体電池の開発を進めています。



IoT (Internet of Things)、ウェアラブル、モバイルなどの機器の小型化に貢献します！

● 富士通アルカリ乾電池「プレミアム・ハイパワー・ロングライフ」がさらに性能アップ！



漏液防止性能がさらに向上し、大切な機器に安心してお使いいただけます。長期保存後の性能もアップし、いざという時のための備蓄電池にも最適です。また「プレミアム」は抗菌ラベルを採用しているため医療機器や玩具などにも安心してお使いいただけます！



あらゆる機器に対応する「新・プレミアム」

大・中電流機器に最適な「新・ハイパワー」

中・小電流機器に最適な「新・ロングライフ」

● 世界最小クラスDC-DCパワーモジュールを開発、サンプル出荷開始！



1/4-Brickサイズの400W出力クラスの性能を約半分の面積の1/8-Brickサイズで実現し、産業機器の小型化や消費電力の低減に貢献します！



FPED48T01238NA

FPED48T01238NA-H

継続的な製品供給のための取り組み (BCPからBCMへ)

FDKグループは、BCPの策定と継続的な改善を行なっています。

【第1ステップ(2015年9月~12月)】モデル事業所を選定し、株式会社富士通総研によるコンサルティングを活用してBCPを策定。

【第2ステップ(2016年1月~7月)】モデル事業所での成果をもとにBCP策定を国内全事業所へ水平展開。

【第3ステップ(2016年7月~)】BCPをもとに、全事業所にてBCMを開始。必要な対策、進捗評価、レビューを継続的、定期的実施。海外事業所への展開を推進。

様々なリスク発生時において早期復旧を行ない、お客様への製品供給が途切れることのないようBCMを実行しています。

* BCP: Business Continuity Plan「事業継続計画」

* BCM: Business Continuity Management「事業継続マネジメント」

今後に向けて

FDKグループは、FDKの技術開発統括部が全社の研究開発活動を統括し、将来の市場環境と技術動向を見据えた新製品・新技術の開発を進めています。また、産学や海外および富士通グループの研究機関などとの連携により先端技術の導入を効率的に進め、技術開発スピードを高めてまいります。

